

馬はどのように渡来し、社会に浸透したのか

馬文化の渡来、生産・飼育、交通、祭祀、儀式——

古墳時代から摂関期まで、日本考古学・文献史学を中心に、
動物考古学、日本文学など、隣接する諸分野と多角的に検証

馬と古代社会

佐々木虔一・川尻秋生・黒濟和彦 編

(古代交通研究会会長) (早稲田大学教授) (大成エンジニアリング(株))

2021年5月25日刊行 定価 8,800円 (本体 8,000円+税 10%)

A5判・上製・カバー装・568頁+カラー口絵8頁 ISBN978-4-8406-2247-9 C3021 ¥8000E

① 馬文化の渡来に迫る

古墳時代、東アジアを經由して日本(倭)に渡来した馬文化。馬は古代社会にどのように受容され広がったのか。中国・朝鮮半島・中央アジアなどの馬文化と比較し、日本国内の古墳などに埋葬される馬具・埴輪、地中から出土する馬の骨など、多彩な資料を分析した最新の研究を紹介。

② 日本全国を網羅

中国の制度や朝鮮半島のあり方を強く意識しつつ、生駒山麓西側周辺から伊奈谷(長野県)を経て、上野地域を見通す馬の伝播の道、畿内周辺の牧、そして御牧が設置された信濃・上野・甲斐・武蔵地域、さらには北陸・東北、九州南部まで、日本列島の馬に関するほぼ主要な地域をカバー。その地域の専門家が最新の研究成果を伝える。

③ 古墳時代中期から摂関期までの約700年間

初期馬飼集団が出現した古墳時代中期からはじまって、馬が武力として積極的に利用された古墳時代全般、大化前代から律令制成立期の諸制度の成立、そして律令制下の牧の実態、貴族と馬の儀礼的な関係が強まった摂関期まで約700年間を対象とする。

④ 古代社会を支えた馬の諸相

白馬あおうまの節会(毎年正月7日に実施)など儀式に登場する馬。雨乞の祭祀に用いられる馬。神社に奉納される絵馬。和歌によまれた馬、騎馬と馬車の関係など、様々なシーンに登場する馬が古代社会にもたらした意味を多角的に考える。

⑤ 馬の一生

馬はどこからやってきて、何を食べ、何歳まで生きたのか。地中から出土する馬の骨などを分析する動物考古学の最新成果により、都城やその周辺の馬の一生(ライフヒストリー)や馬の出生地、そして労働環境までを明らかに。カラー口絵8ページで、馬の文物を紹介。



八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8
Tel:03-3291-2961 / Fax:03-3291-6300
pub@books-yagi.co.jp <https://catalogue.books-yagi.co.jp/>

カラー口絵 (8 頁)

序 『馬と古代社会』刊行にあたってー

佐々木 虔一

I 部 総 論

- 1 日本列島における馬匹と馬具の受容
- 2 馬匹生産地の形成と交通路
- 3 馬と渡来文化ー古墳時代東国の馬生産ー
- 4 東国の牧遺構
- 5 貢馬をめぐる牧の諸相
- 6 動物考古学からみた馬匹生産と馬の利用
- 〔コラム〕馬のシンボリズムー古代トラキア人と馬ー

桃崎 祐輔
諫 早直人
若狭 徹
平野 修
山口 英男
植月 学
田尾 誠敏

II 部 考 古 編

- 1 地域間関係と交通を考える馬具研究
- 2 絵 馬
- 3 都城と馬
- 4 エミシの馬 ー狄馬ー
- 〔コラム〕焼 印
- 5 馬関連の遺構・遺物からみた陸奥国府
- 6 馬の飼育 ー群馬県榛名山テフラ下の事例をもとにー
- 7 群馬県安中市横野台地の牧と道路
- 8 科野の馬・信濃の馬と東山道
- 9 富山市百塚住吉D遺跡の厩舎 (馬小屋) 遺構
- 〔コラム〕東山道武蔵路と馬

内山 敏行
北條 朝彦
山崎 健
黒 濟 和彦
高島 英之
高橋 透
杉山 秀宏
井上 慎也
西山 克己
鹿島 昌也
黒 濟 玉恵

III 部 文 献 編

- 1 古代の馬飼
- 2 唐代の馬匹生産・管理と交通規定
- 3 駅馬と伝馬
- 〔コラム〕推古朝の馬官
- 4 兵馬と官牧 ー公私馬占有の日唐比較ー
- 〔コラム〕小野牧
- 5 儀礼・儀式と馬
- 〔コラム〕日本古代における馬の毛色
- 6 祭祀・祓と馬
- 7 六芸からみた乗馬習慣
- 8 絵馬の起源を探る ー古代史研究と民俗資料ー
- 9 古代における馬と和歌
- 10 日本古代の騎兵 ー中世武士の前提としてー
- 11 近畿の馬牧
- 12 古代の九州と馬

加藤 謙吉
河野 保博
中 大輔
吉村 武彦
田中 禎昭
柳 沼 千枝
中 込 律子
荒井 秀規
藤本 誠
藤田 佳希
川尻 秋生
荒井 洋樹
近藤 好和
吉川 敏子
柴田 博子

あとがき

川尻 秋生

【予約受付中】 刊行次第、お届けいたします。ご注文は下記にご記入の上、最寄りの書店か、または小社までお申し込み下さい。

申 込 書	佐々木虔一・川尻秋生・黒濟和彦編／八木書店刊		2021年5月25日刊行	取扱店 (番線印)
	馬と古代社会 (うまとこだいしゃかい)		[] 冊	
	ISBN978-4-8406-2247-9 C3021 ¥8000E 定価 8,800 円 (本体 8,000 円+税 10%)			
	お名前 (ふりがな)		TEL	
ご住所 〒		FAX	E-MAIL	

